未来通信創造カンパニー
interCOM®

IVRシステム構築用ソフトウェアパッケージ

InnoVoice® イノボイス

導入参考資料

「InnoVoice」は、 IVR（会話型自動音声応答）システムを低価格で構築できる CT ミドルウェア製品です。
音声応答フローを作成するツール「ガイダンスエディタ」で、容易にシステムを構築できます。
電話や FAX の専門知識は必要ありません。
構築したシステム（FAX 情報サービス、音声情報サービス、商品受注、予約受付、情報登録など）を 24 時間・365 日稼動させることにより、フロント オフィスの業務効率化を推進します。

製品無料貸出し中 !!
貸出し申込書付

interCOM、InnoVoiceは、（株）インターコムの登録商標です。
Microsoft、Access、Windows、Windows NT、およびWordは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
音声合成エンジンには、沖電気工業株式会社の、日本語テキスト音声変換エンジン「SMARTTALK® DLL Version 2.0」を使用しています。SMARTTALKは、沖電気工業株式会社の登録商標です。
また、本書に記載されている社名および各製品の名称は、各メーカーの（登録）商標です。
なお、本書では ™ および ® マークを割愛しています。

［ご注意］

- 本書の内容の一部または全部を、弊社に無断で複写することは、法律で禁止されています。
- 本書の内容は、製品の技術的改良により、予告無しに変更されることがあります。

Copyright © 2002 by Intercom, Inc. All rights reserved.

InnoVoice イノボイス® 導入参考資料

目　　次

InnoVoice でできること 1

システム環境とプログラム構成 2

ガイダンスエディタの使用方法 3

既存のシステムとの連携 6

応用例 8

構築具体例 9

1　中古車ディーラーの中古車情報配信サービス 9

2　銀行の為替レート読み上げサービス 11

3　小売業者向け商品受注システム 13

4　英会話スクール（チケット制）の予約システム 16

5　営業部員用ユニファイドメッセージ システム 20

6　災害発生時の社員安否確認システム 23

導入事例 26

機能一覧 29

交換機内線転送時の注意 30

サンプルテンプレート 32

システム構成例 《音声 FAX 情報システム （2 回線） の場合》 33

製品構成と走行環境 34

無料貸出し申込書 35

InnoVoiceでできること

InnoVoiceを使って次のようなサービスを提供できます。

◆ FAX/音声情報サービス ◆

かかってきた電話に音声ガイダンスで応答し、希望するカタログや価格表などを配信するFAX情報サービスや、最新のニュースや情報を音声合成エンジンによりリアルタイムで読み上げる音声情報サービスを構築できます。また、ナンバー・ディスプレイ対応により、発信者を特定した情報サービスが可能です。

◆ ボイスメール ◆

個人宛に受信した電話（伝言メッセージ）やFAXデータをサーバー パソコンに保存します。保存された情報は、各クライアント パソコンから「パーソナル ビューア」を使用して参照できます。また、外出先からリモート アクセスして確認したり、指定のメールアドレスに、伝言やFAXを添付ファイルとして転送することもできます。

◆ 交換機（ビジネスホン/ボタン電話主装置）連携システム ◆

交換機のアナログ内線にInnoVoiceを接続することにより、 電話の一次受けシステムを構築できます。
小規模サポートセンターや、内線転送機能・ボイスメール機能と連携させたユニファイドメッセージ システムを構築することができます。

◆ Web連携 ◆

受信したFAXはJPEG形式・TIFF形式で保存できるため、Web上での参照・情報公開を可能にします。

◆ DB連携システム ◆

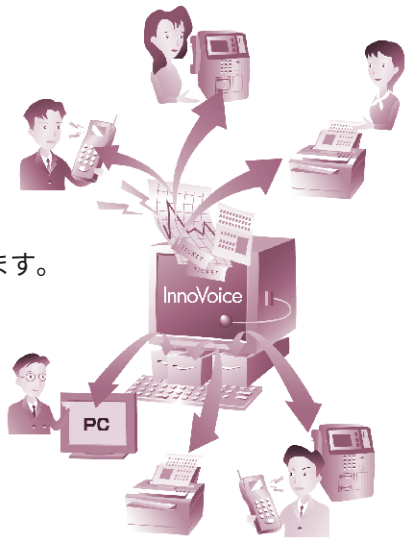
データベース（DB）と連携することにより、予約受付、会員登録、商品受注、安否確認、アンケート収集システムなどを構築できます。利用者が入力したトーンを外部プログラム（ユーザーが作成したプログラム）に渡すことができるため、DBと連携したユーザー認証などが可能です。また、戻り値をレジストリに書き込み、検索結果に応じた音声応答フローを構築することもできます。

◆ 発信API ◆

発信APIを利用することで、 外部プログラムからInnoVoiceへの発信要求が可能です。
ガイダンスの実行、メッセージ再生、FAX送信、メール送信、ポケベル送信などを、能動的に行うことができます。 顧客DBと連携させることにより、マーケティング活動の省力化を実現できます。

◆ FAX サーバーシステム ◆

発信者番号を利用することにより、受信FAXのフォルダへの振分けや担当者へのメール転送を行うことができます。FAXはデジタル データとして保存されるため、ペーパーレス化を推進します。
また、受信FAXイメージファイルをテキストデータへ変換するFAX-OCRシステムのプラットフォームとしても利用可能です。

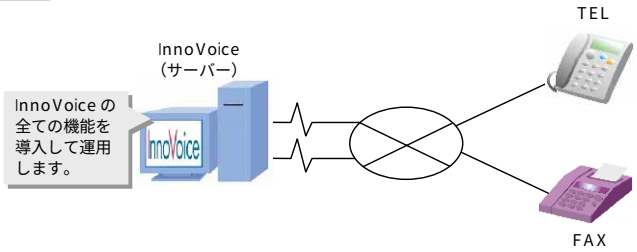


これらの機能を組み合わせて、システムを構築することができます。

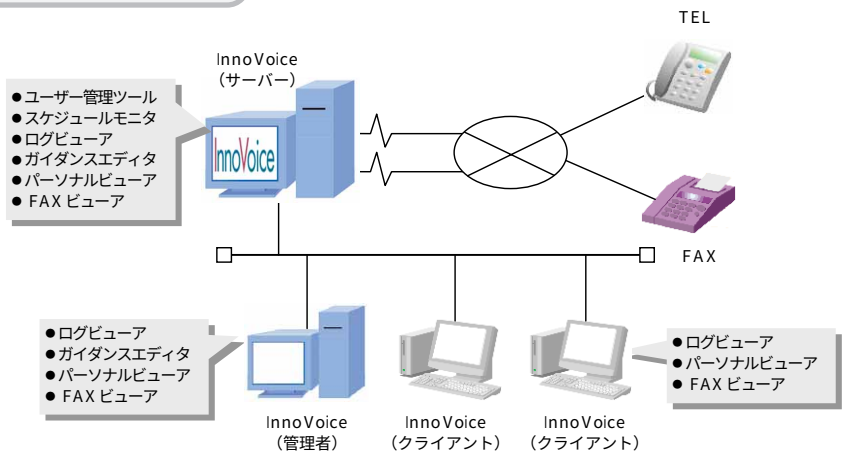
システム環境とプログラム構成

【システム環境】

スタンドアローンの場合



サーバー＆クライアントの場合



【プログラム構成】

ユーザー管理ツール

InnoVoice を利用するユーザーを登録し、 個人BOXを設置することができます。また、BOXに届いた伝言やFAXを管理します。

ログビューア

利用者がアクセスしてきた時間、 取り出したFAX/ 音声情報などを時系列順に表示する他、利用者が入力した連絡先番号などの情報もログとして参照することができます。
ログの情報をもとにデータのグラフ化が可能です。

パーソナルビューア

個人およびグループのBOXに受信した伝言やFAXを管理・参照できます。
また、 受信メッセージを参照するツールや、 受信データの転送先の設定が可能です。

スケジュールモニタ

InnoVoiceをインストールすると、IVScheduler（スケジューラー）というサービスがWindowsに登録されます。このサービスは、発信処理を管理します。スケジュールモニタでは、スケジューラーで管理しているジョブ（発信処理）の内容・状態を一覧表示します。

ガイダンスエディタ

システム構築のためのツール。あらかじめ用意されているアクション（動作定義オブジェクト）を追加していくことで、ツリー形式のガイダンスを構築できます。

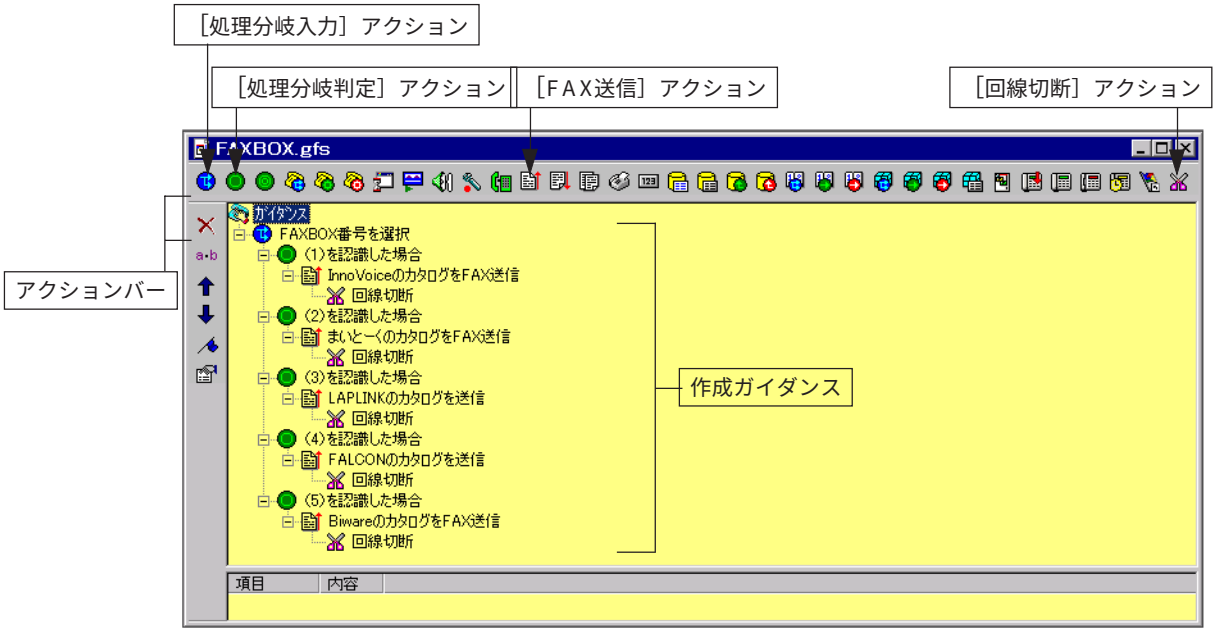
FAX ビューア

FAXデータの作成や編集、 内容確認ができます。
また、 個人宛に届いたFAXデータを参照することができます。

ガイダンスエディタの使用方法

ガイダンスエディタは、高機能かつわかりやすいインターフェースを持つ、音声FAX自動応答システムを構築するツールです。外部プログラムを開発してDBなどの既存システムと連携させることにより、高度なシステムを構築することができます。
また、シンプルなFAX BOXシステムであれば、アクションを追加していくことで簡単に構築できます。
ここでは、製品カタログをFAX送信するガイダンスを例に、作成方法を説明します。

ガイダンスエディタでの作成イメージ



使用するアクションの説明

各アクションは、アクションバーのボタンをクリックして追加し、プロパティ画面で詳細を設定します。

- **［処理分岐入力］アクション**

  運用時には、利用者にトーン入力（電話機の番号を押す動作）を促す。プロパティでは、「再生アナウンス」「再試行回数」「入力待ち時間」を設定する。

- **［処理分岐判定］アクション**

  運用時には、入力されたトーンを認識して処理を分岐する。プロパティでは、判定するトーンを設定する。

- **［FAX送信］アクション**

  運用時には、指定されたFAXファイルを送信する。プロパティでは、FAXファイル名を設定する。

- **［回線切断］アクション**

  運用時には、回線を切断する。

フローチャート

メニュー案内の再生（[処理分岐入力] アクション）
- 1 トーンの認識（[処理分岐判定] アクション）
  - InnoVoiceのカタログをFAX送信（[FAX送信] アクション）
    - 回線切断（[回線切断] アクション）
- 2 トーンの認識（[処理分岐判定] アクション）
  - まいと～くのカタログをFAX送信（[FAX送信] アクション）
    - 回線切断（[回線切断] アクション）
- ・・・

電話機から入力された番号が「1」の場合、階層下のアクションを実行する。

電話機から入力された番号が「2」の場合、階層下のアクションを実行する。

上記と同様の処理を追加していくことで、製品カタログの種類を増やすことができる。

ガイダンスの作成

1. をクリックして、[ガイダンス] の下に [処理分岐入力] アクションを追加。
※各アクションは、ボタンをクリックすることにより、選択しているアクションの下に追加できます。

2. [処理分岐入力] アクションのプロパティを、ウィザード形式で設定する。
※各アクションはダブルクリックすることにより、プロパティを表示できます。

3. [処理分岐入力] アクションをクリックして、アクション名をわかりやすい名前に変更する。
ここでは「FAXBOX番号を選択」と入力。
※各アクションをクリックすることにより、名前を変更することができます。

4. をクリックして、[FAXBOX番号を選択] アクションの下に [処理分岐判定] アクションを追加。
プロパティを設定後、アクション名を「（1）を認識した場合」と変更する。

5. をクリックして、[（1）を認識した場合] アクションの下に [FAX送信] アクションを追加。
プロパティを設定後、アクション名を「InnoVoiceのカタログを送信」と変更する。

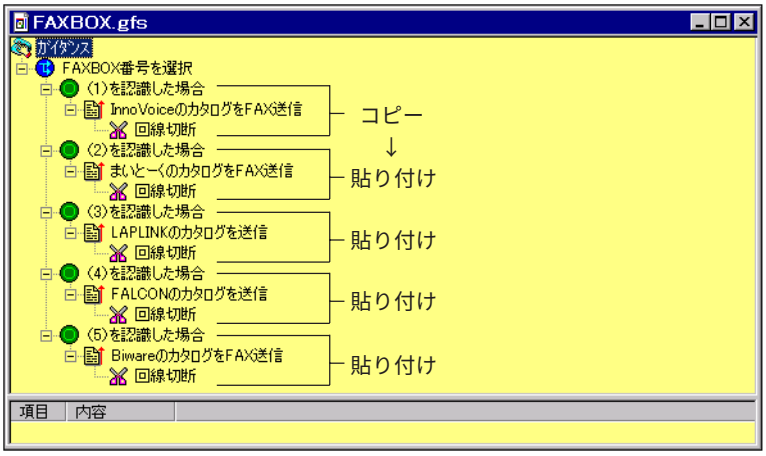
6. をクリックして、[InnoVoiceのカタログを送信] アクションの下に [回線切断] アクションを追加。

これで、利用者が電話機の1を押した場合は、InnoVoiceのカタログを送信して回線を切断する、というアクションを実行します。次に、他のカタログを送信する場合のメニューを作成します。フローは、［（1）を認識した場合］アクション以下の構成と同様です。

7. ［（1）を認識した場合］アクションを選択して、コピー をクリック。

8. ［FAXBOX番号を選択］アクションを選択して、貼り付け をクリック。コピーした［（1）を認識した場合］アクション以下が、［FAXBOX番号を選択］アクションの下に貼り付けられる。
※必要なカタログの数分、貼り付けてください。

9. 貼り付けた各アクションのプロパティを設定し、それぞれ名前を変更する。



※上の画面では、アクションバーを省略しています。

既存のシステムとの連携

プログラミング インターフェース

InnoVoiceでは、データベース（DB）と連携することによって高度なIVRシステムを構築することができます。ガイダンスエディタの［DB手続き呼出］アクションを使用し、ストアドプロシージャを直接実行したり、戻り値を判定できます。また、［外部プログラム起動］アクションにより、ユーザーが作成したプログラム（外部プログラム）を呼び出すことができます。
InnoVoiceから外部プログラムへのインターフェースは、「ロッカー」と呼ばれる変数を利用します。プログラム名とロッカーを指定するだけで、簡単にパラメータとして渡すことができます。また、外部プログラムからInnoVoiceへのインターフェースは、「レジストリ」を利用します。

■ ロッカーの利用（InnoVoiceから外部プログラムへ）

InnoVoiceで取得した情報（通信ポート番号/発信者番号/入力されたトーン/録音された音声ファイル/受信したFAXファイル）やプログラムの戻り値は、変数（ロッカー）として外部プログラムに渡すことができます。

▶ ロッカーに値を設定することが可能なアクション

アクション名	ロッカーに格納される値
メッセージ録音	録音された音声ファイル名
FAX 受信	受信した FAX ファイル名
FAX マージ	結合先 FAX ファイル名
DB 引数入力	入力されたトーン
DB 戻りテキスト格納	ストアドプロシージャの実行結果
レジストリ値ロッカー格納	指定したレジストリの値

▶ ロッカーをパラメータとして渡すことが可能なアクション

・外部プログラム起動　・DB手続き呼出

▶ ロッカーを利用することが可能なアクション

・レジストリ値分岐項目　・メッセージ再生　・テキストファイル再生　・FAX送信
・FAXマージ　・自動発信　・レジストリ値ロッカー格納　・内線転送

■ レジストリの利用（外部プログラムからInnoVoiceへ）

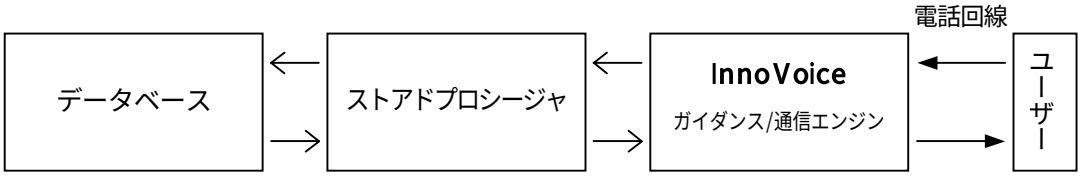
InnoVoiceでは、「指定したレジストリ値を比較・判定」および「レジストリ値をロッカーへ格納」することができます。この機能を利用して、外部プログラム内で任意のレジストリに戻り値を書き込むことで、その後の処理を分岐することができます。また、レジストリにファイルパスを書き込むと、階層下でのメッセージ再生、テキストファイル再生、FAX送信などのアクションで使用できます。

外部プログラムからInnoVoiceに値を引き渡すには、下記のアクションを利用します。

アクション名	設定方法 / ガイダンス運用時の動作
レジストリ値分岐項目	運用時に参照する、レジストリキーとその名前を指定。
レジストリ値分岐判定	［レジストリ値分岐項目］アクションで指定されたレジストリと、比較する値を指定。運用時、値が一致した場合は階層下のアクションを実行。
レジストリ値分岐該当なし	［レジストリ値分岐項目］アクションと［レジストリ値分岐判定］アクションの値が一致しない場合に、階層下のアクションを実行。
レジストリ値ロッカー格納	参照するレジストリキーと名前、および外部プログラムの出力結果を格納するロッカーを指定。運用時、指定されたレジストリの値をロッカーに保存。

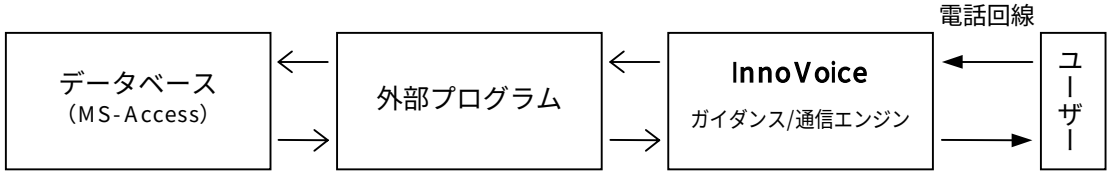
データベースとの連携

■ ストアドプロシージャを持ったODBC対応のデータベース



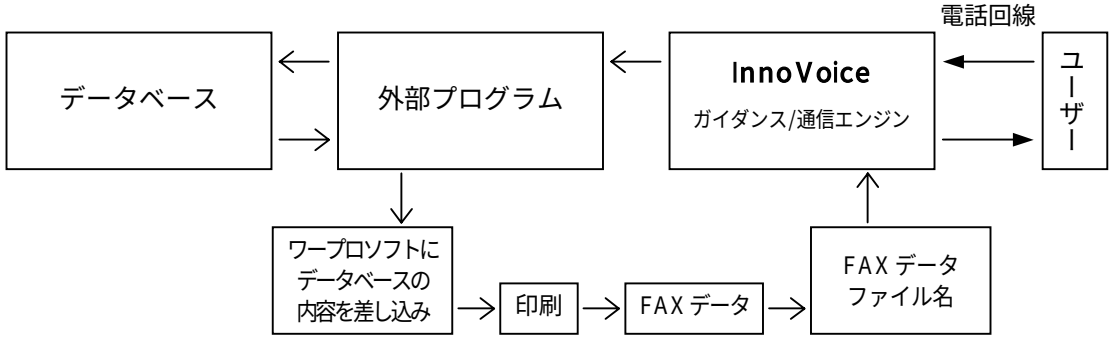
※ストアドプロシージャとは、SQL文やSQL文を拡張したRDBMSベンダー独自の言語で記述するプログラムです。DBの操作だけでなく、条件判定、分岐、繰り返しなど、SQL文では実現できない詳細な処理制御が可能となります。ストアドプロシージャの記述方法は、利用するDBによって異なります。

■ その他のデータベース

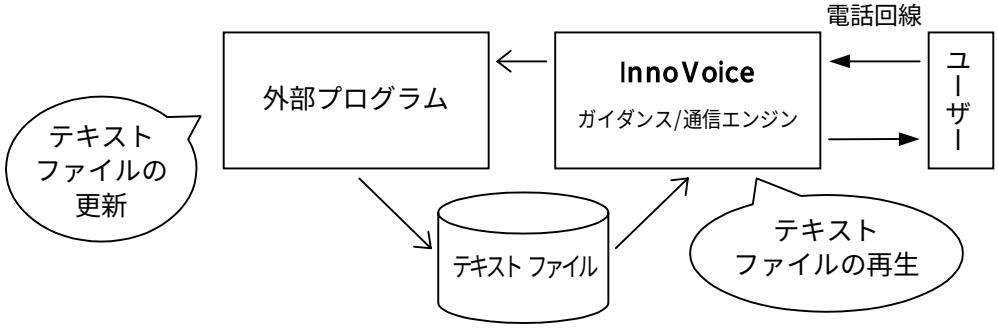


他アプリケーションとの連携

■ InnoVoice ガイダンスのフローから、 外部プログラムを起動した後、 データベースの情報をワープロ ソフトに反映し、 ユーザーにFAXを送信する場合



■ 外部プログラムの実行後に、 InnoVoice が特定のテキスト ファイルを読み上げ、 ユーザーに最新のニュースを配信する場合



応用例

FAX/ 音声情報サービス

- 商品カタログ・価格表などの配信
- 不動産情報の配信
- ハローワークの求人情報配信
- 旅行会社/代理店のツアー情報の配信
- 映画館の上映映画情報の配信
- 中古車ディーラーの中古車情報の配信
- 農協・農家向け病害虫・農薬情報の配信
- ケーブルTVの番組情報の配信
- 学習塾の試験模範回答の配信

ＤＢと連携させたシステム

- 各種チケットの予約
- スポーツ施設・語学スクールの予約
- 宅配荷物の集荷受付
- 金融機関の残高照会
- クレジットカードの利用状況・債権残高照会
- 商品在庫照会
- 病院、老人施設の予約受付・待ち状況の確認
- 顧客からの商品受注業務
- 通信販売の受注
- 百貨店のホームページ配布

ボイスメール サービス

- 社内向けボイスメール システム
- 伝言ＢＯＸ
- 最新の為替・金利・株価情報提供システム
- 受信メール取り出し、音声メール送信
- ユニファイドメッセージ システム
- 音声の録音による受注システム

交換機との連携

- 内線への転送
- 外線への転送
- 不在時の留守番電話/ＦＡＸ受信
- 小規模サポートセンター

FAXServer

- 発信者番号によるＦＡＸの振り分けシステム
  （フォルダへの保存、メール転送）
- 注文請負書の自動返信システム
- ＦＡＸ-ＯＣＲシステム

InnoVoice 構築具体例 ・ 1

中古車ディーラーの中古車情報配信サービス

システムの内容

FAX機の受話器から音声ガイダンスに従い、ボタンを押すことで、希望の中古車情報やローン情報などを取り出せるシステム。

【導入効果】

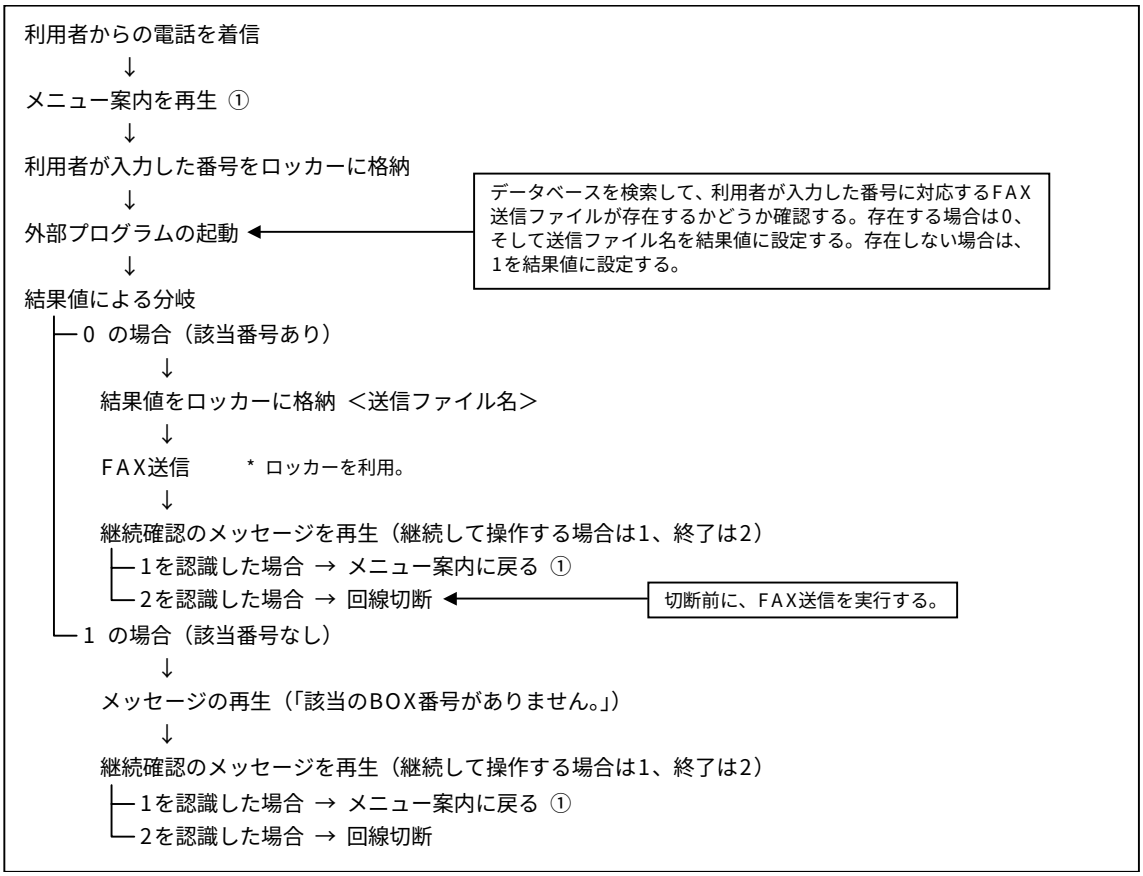
- 営業チャンスの拡大　　：24時間365日、無人で利用者に情報を提供できます。
- 営業活動に利用できます：発信者番号通知により、利用者の電話番号が取得できます。

システムの流れ

1. 利用者からの電話を着信後、希望する情報の番号を受信する。
2. 希望情報の指定が終了すると、回線を切断する前に自動的にFAXを送信する。

※ このシステムは、データベースに、BOX番号と送信FAXイメージの対応がとれた情報が存在することが前提となります。

フローチャート



ガイダンスエディタ

※1：メニュー案内の再生が含まれます。
※2：上の画面では、アクションバーを省略しています。

ストアドプロシージャを持つデータベースを使用した場合

※1：メニュー案内の再生が含まれます。
※2：上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 構築具体例 ・ 2

銀行の為替レート読み上げサービス

システムの内容

日々一刻かわる為替レートを利用者が電話で確認できるシステム

【導入効果】

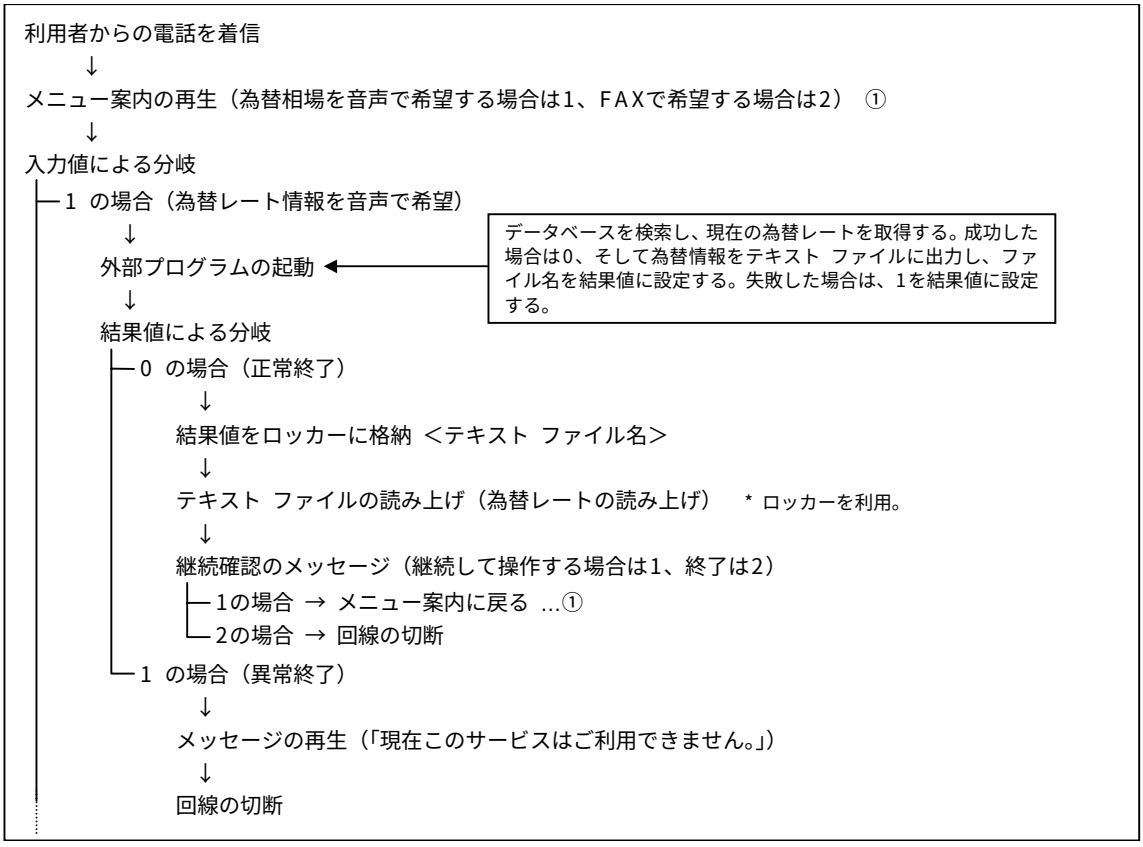
- 顧客サービスの拡充 ： 利用者に場所を気にせずに情報を提供できます。
- 顧客の囲い込み戦略 ： 他行との差別化ができ、顧客の囲い込みが図れます。

システムの流れ

為替レート案内専用ダイヤルの場合

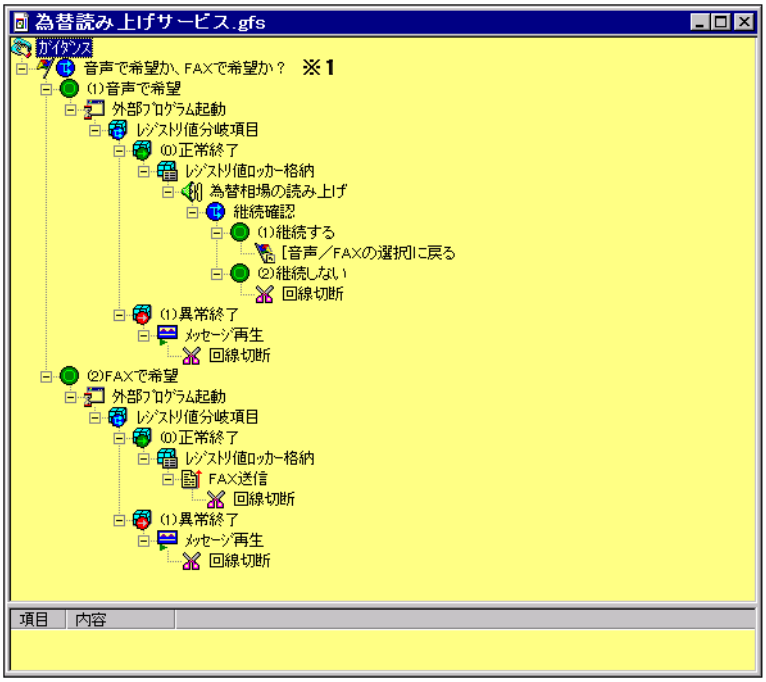
1. 利用客からの電話を着信後、為替レートを音声で希望するか、FAXで希望するかを受信し、為替レート情報を提供する。
2. 音声の場合は、利用者の希望により、再度情報を提供できるようにする。

フローチャート



2 の場合（FAXで希望）
↓
外部プログラムの起動 ← データベースを検索し、現在の為替レートを取得する。成功した場合は0、そして為替レートをテキスト ファイルに出力しInnoVoiceプリンタ ドライバで印刷し、FAXファイルを作成する。失敗した場合は、1を結果値に設定する。
↓
結果値による分岐
- 0 の場合（成功）
  - ↓
  - 結果値をロッカーに格納 ＜FAXファイル名＞
  - ↓
  - FAX送信 ← ロッカーを利用。
  - ↓
  - 回線の切断
- 1 の場合（失敗）
  - ↓
  - メッセージの再生（「現在このサービスはご利用できません。」）
  - ↓
  - 回線の切断

ガイダンスエディタ



※1：メニュー案内の再生が含まれます。
※2：上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 構築具体例 ・ 3

小売業者向け　商品受注システム

システムの内容

データベースと連携した受注システム。顧客からの注文を受け、「受注書」を送信すると同時に在庫管理も自動的に行う。

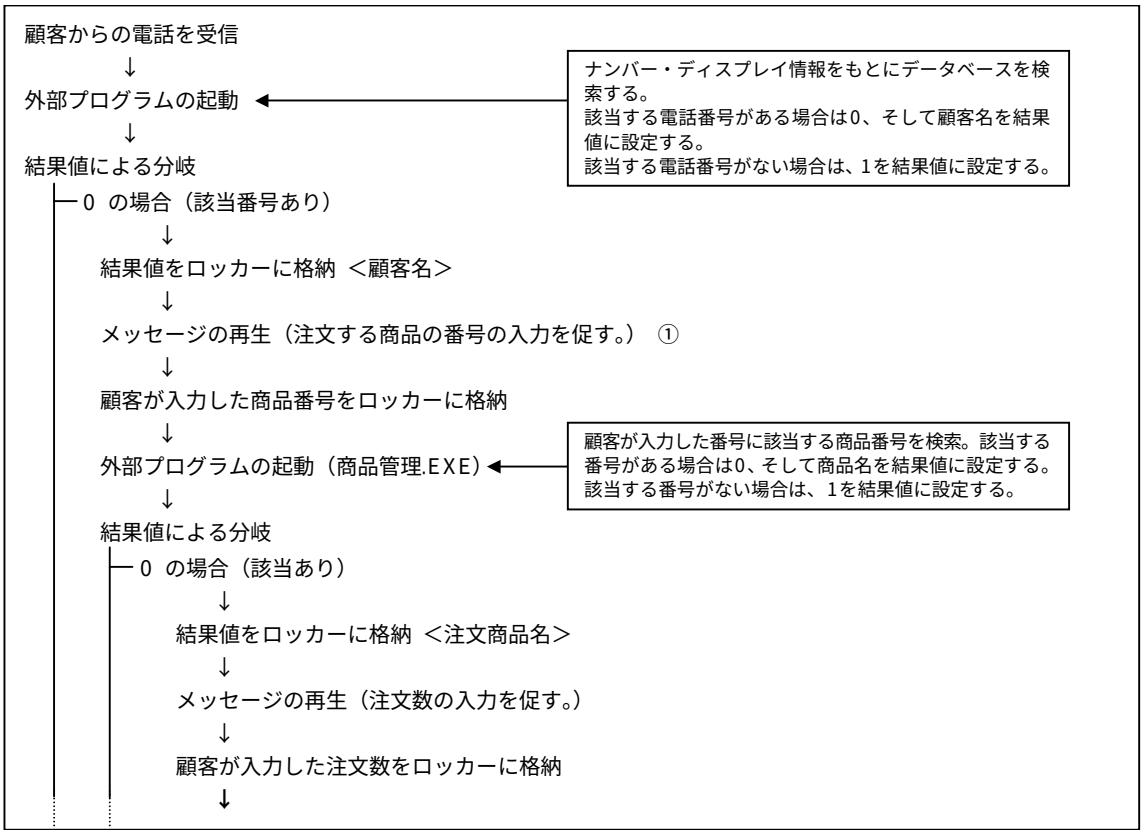
【導入効果】

- 営業間口の拡大 ： インターネットを利用できないユーザー層に提供できます。
- マーケティング ： ログデータ（受注状況）から売れ筋商品を分析できます。

システムの流れ

1. 顧客からの電話を着信後、ナンバー・ディスプレイ情報を元にデータベースを検索し、顧客を判別する。
2. 注文する商品の商品番号と数量を受信する。注文数が在庫数を上回った場合は、その旨を知らせる。
3. 受注内容を受注データベースに登録する。
4. 引き続き他製品の注文を受け付け、なければ受注を終了し、受注内容をＦＡＸで送信する。

フローチャート

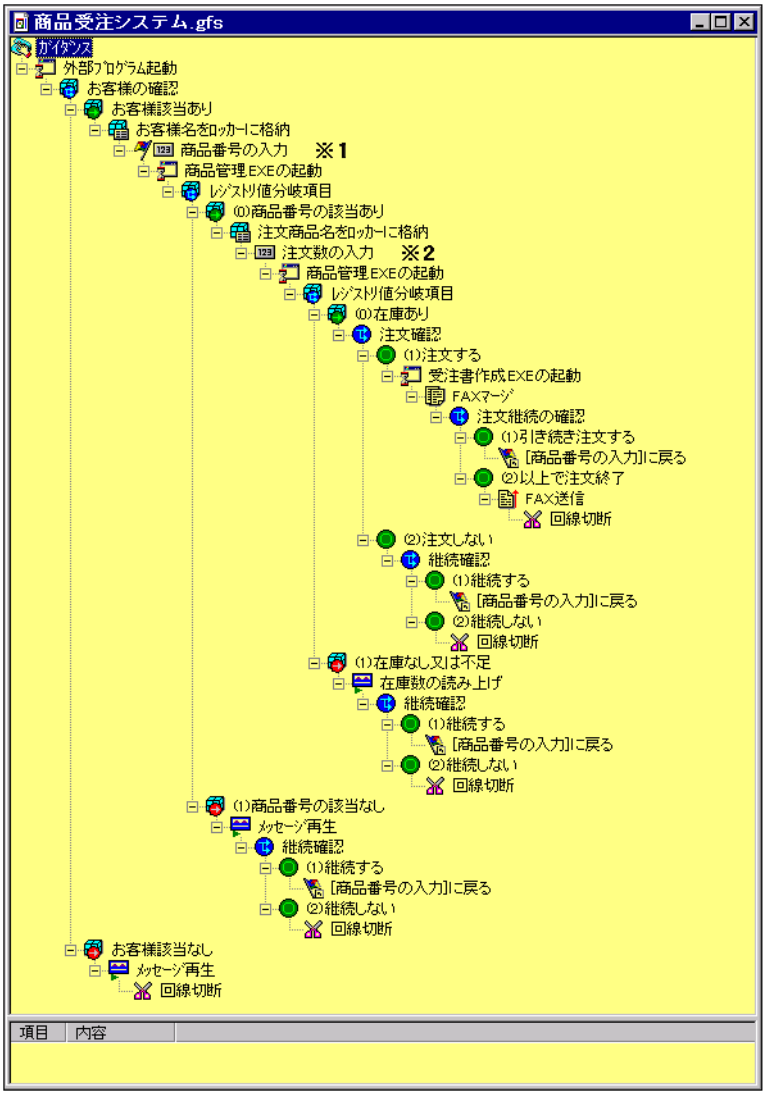


↓
外部プログラムの起動（商品管理.EXE）← 顧客が入力した数と在庫数を照らし合わせ、在庫がある場合は、0を結果値に設定する。在庫がない場合は1、そして在庫数を結果値に設定する。
↓
結果値による分岐
- 0 の場合（在庫あり）
  - ↓
  - メッセージの再生（注文する場合は1、しない場合は2）
  - ↓
  - 結果値による分岐
    - 1 の場合（注文する）
      - ↓
      - 外部プログラムの起動（受注書の作成.EXE）
      - ↓
      - FAXマージ（B.ivxにA.ivxを結合）
      - ↓
      - 継続確認のメッセージを再生（注文を継続する場合は1、しない場合は2）
        - 1 の場合（継続あり）
          - ↓
          - 商品番号の入力に戻る …①
        - 2 の場合（継続なし）
          - ↓
          - 受注書をFAXで送信（B.ivx）
          - ↓
          - 回線の切断
    - 2 の場合（注文しない）
      - ↓
      - 継続確認のメッセージを再生（商品番号の入力に戻る場合は1、終了は2）
        - 1の場合 → 商品番号の入力に戻る …①
        - 2の場合 → 回線の切断
- 1 の場合（在庫なし、または不足）
  - ↓
  - 在庫数の読み上げ（「只今在庫数は××個です。」）← ロッカーを利用。
  - ↓
  - 継続確認のメッセージを再生（商品番号の入力に戻る場合は1、終了は2）
    - 1の場合 → 商品番号の入力に戻る …①
    - 2の場合 → 回線の切断

1 の場合（該当なし）
↓
メッセージの再生（「番号に該当する商品がありません。」）
↓
継続確認のメッセージを再生（継続して操作する場合は1、終了は2）
- 1の場合 → 商品番号の入力に戻る …①
- 2の場合 → 回線の切断

1 の場合（該当番号なし）
↓
メッセージの再生（会員だけのサービスであることを知らせる。）
↓
回線の切断

ガイダンスエディタ



※1：メッセージの再生（注文する商品番号の入力を促す）が含まれます。
※2：メッセージの再生（注文数の入力を促す）が含まれます。
※3：上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 構築具体例 ・ 4

英会話スクール（チケット制）の予約システム

システムの内容

学生が、その週の受講希望クラスを予約するシステム。その他、残りチケット数やクラスの空き状況を確認できる。

【導入効果】

- 顧客の囲い込み戦略：他校との差別化ができ、顧客の囲い込みが図れます。
- 人件費削減　　：専用の予約受付オペレーターを配置する必要がありません。

システムの流れ

＜予約の場合＞

1. 学生からの電話を着信後、学生番号とパスワードを受信し、データベースを検索して登録されている学生かどうかチェックする。
2. 受講希望のクラス番号を受信し、クラスの空き状況やレベルを照合後、予約可能であれば予約を受け付ける。
3. データベースでチケット数をカウントする。

＜キャンセルする場合＞

1. 学生からの電話を着信後、学生番号とパスワードを受信し、データベースを検索して登録されている学生かどうかチェックする。
2. キャンセルするクラス番号を受信する。
3. 授業開始時間の30分前であれば、予約を取り消し、30分内であれば「キャンセル不可能」のガイダンスを流す。
4. キャンセルした場合は、データベースの残りチケット数も更新する。

フローチャート

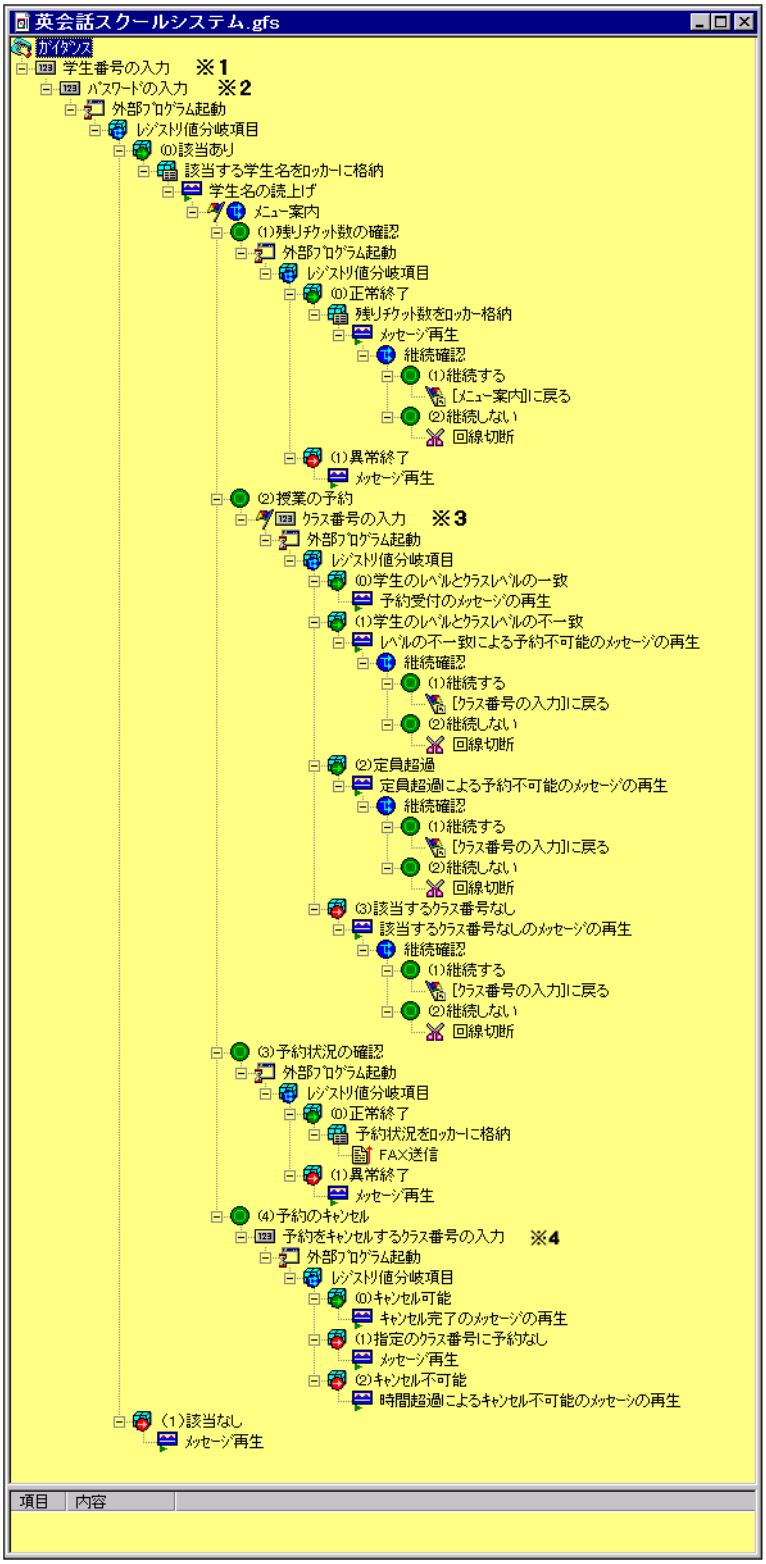
学生からの電話を着信
↓
メッセージの再生（学生番号の入力を促す。）
↓
学生が入力した学生番号をロッカーに格納
↓
メッセージの再生（パスワードの入力を促す。）
↓
学生が入力したパスワードをロッカーに格納
↓
外部プログラムの起動 ← 学生番号とパスワードをもとにデータベースを検索し、データベースに学生が登録されている場合は0（成功）、そして学生名を結果値に設定する。学生が登録されていない場合は、1（失敗）を結果値に設定する。
↓
結果値による分岐
- 0 の場合（成功）
  - ↓
  - 結果値をロッカーに格納 ＜学生名＞
  - ↓
  - メッセージの再生（ロッカー内の学生名を読み上げる）
  - ↓
  - メニュー案内の再生（残りチケット数の確認は1、予約は2、予約状況の確認は3、予約キャンセルは4）①
  - ↓
  - 学生が入力した番号を認識
  - ↓
  - 入力値による分岐
    - 1 の場合（残りチケット数の確認）
      - ↓
      - 外部プログラムの起動 ← 学生番号をもとにデータベースを検索し、残りチケット数の確認ができた場合は0（成功）、そしてチケット数を結果値に設定する。残りチケット数が確認できない場合は、1（失敗）を結果値に設定する。
      - ↓
      - 結果値による分岐
        - 0 の場合（成功）
          - ↓
          - 結果値をロッカーに格納 ＜残りチケット数＞
          - ↓
          - メッセージの再生（ロッカー内の残りチケット数を読み上げる。）
          - ↓
          - 継続確認メッセージの再生（継続して操作する場合は1、終了は2）
            - 1を認識した場合 → メニュー案内の再生に戻る …①
            - 2を認識した場合 → 回線の切断
        - 1 の場合（失敗）
          - ↓
          - メッセージの再生（「現在このサービスはご利用できません。」）
    - 2 の場合（予約）
      - ↓
      - メッセージの再生（予約するクラス番号の入力を促す。） ②
      - ↓
      - 学生が入力したクラス番号をロッカーに格納
      - ↓
      - 外部プログラムの起動 ← 学学生番号をもとにデータベースを検索し、学生のレベルとクラスのレベルが一致するか確認する。一致した場合は、予約を受け付けて0（成功）、そして予約番号を結果値に設定する。一致しなかった場合は1（失敗）、入力された番号に該当するクラスがない場合は2（失敗）、定員オーバーにより予約不可能の場合は3（失敗）を結果値に設定する。
      - ↓
      - 結果値による分岐
        - 0 の場合（成功）
          - ↓
          - メッセージの再生（「予約を受け付けました。」）

- 1 の場合（失敗）
  - ↓
  - メッセージの再生（「指定のクラスはレベルが異なるクラスです。予約できません。」）
  - ↓
  - 継続確認メッセージの再生（継続して操作する場合は1、終了は2）
    - 1を認識した場合 → クラス番号の入力に戻る …②
    - 2を認識した場合 → 回線の切断
- 2 の場合（失敗）
  - ↓
  - メッセージの再生（「指定のクラスは予約がいっぱいです。」）
  - ↓
  - 継続確認メッセージの再生（継続して操作する場合は1、終了は2）
    - 1を認識した場合 → クラス番号の入力に戻る …②
    - 2を認識した場合 → 回線の切断
- 3 の場合（失敗）
  - ↓
  - メッセージの再生（「番号に該当するクラスはありません。」）
  - ↓
  - 継続確認メッセージの再生（継続して操作する場合は1、終了は2）
    - 1を認識した場合 → クラス番号の入力に戻る …②
    - 2を認識した場合 → 回線の切断

- 3 の場合（予約状況の確認）
  - ↓
  - 外部プログラムの起動 ← データベース上のクラスの予約状況をWordテンプレートなどに差し込みFAXイメージ データを作成する。FAXイメージの作成に成功した場合は0（成功）、そしてFAXイメージ ファイル名を結果値に設定する。失敗した場合は、1（失敗）を結果値に設定する。
  - ↓
  - 結果値による分岐
    - 0 の場合（成功）
      - ↓
      - 結果値をロッカーに格納 ＜FAXイメージ ファイル名＞
      - ↓
      - FAX送信　　* ロッカーを利用。
    - 1 の場合（失敗）
      - ↓
      - メッセージの再生（「現在、予約状況をお知らせできません。」）
- 4 の場合（予約キャンセル）
  - ↓
  - メッセージの再生（予約をキャンセルするクラス番号の入力を促す。）
  - ↓
  - 学生が入力したクラス番号をロッカーに格納
  - ↓
  - 外部プログラムの起動 ← 学生番号とクラス番号をもとにデータベースを検索し、指定のクラスに予約があるか確認する。予約がない場合は、1（失敗）を結果値に設定する。予約がある場合は、クラス開始時間とアクセス時間を確認し、クラス開始まで30分以上の猶予がある場合は、0（正常）を結果値に設定し、データベースを更新する。30分未満の場合は、2（失敗）を結果値に設定する。
  - ↓
  - 結果値による分岐
    - 0 の場合（成功）
      - ↓
      - メッセージの再生（「予約をキャンセルしました。」）
    - 1 の場合（失敗）
      - ↓
      - メッセージの再生（「指定のクラスに予約がありません。」）
    - 2 の場合（失敗）
      - ↓
      - メッセージの再生（「授業開始まで30分をきりました。指定のクラスをキャンセルすることはきません。」）

- 1 の場合（失敗）
  - ↓
  - メッセージの再生（「入力された学生番号とパスワードでは、このシステムはご利用できません。」）

ガイダンスエディタ



※1：メッセージの再生（学生番号の入力を促す）が含まれます。
※2：メッセージの再生（パスワードの入力を促す）が含まれます。
※3：メッセージの再生（予約するクラス番号の入力を促す）が含まれます。
※4：メッセージの再生（予約をキャンセルするクラス番号の入力を促す）が含まれます。
※5：上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 構築具体例 ・ 5

営業部員用 ユニファイドメッセージ システム

システムの内容

外出の多い営業部員でも、確実に顧客からの伝言やFAXを確認できるユニファイドメッセージ システム。

【導入効果】

- 担当者の作業効率化 ： 電話の一次受付を行いますので、担当者の電話取次ぎでの作業一時中断等による負荷を軽減できます。
- 顧客サービス ： 担当者が不在の場合には、専用のBOXに伝言やFAXを送信できますので確実に連絡が伝わります。

システムの流れ

＜伝言の場合＞

1. 顧客からの電話を着信後、内線番号の受信により、DBを検索して担当者へ電話を転送する。
2. 担当者が話し中、および不在の場合は、伝言を録音する。
3. 伝言はWAV形式で保存し、添付ファイルとして指定のメールアドレスへ転送する。

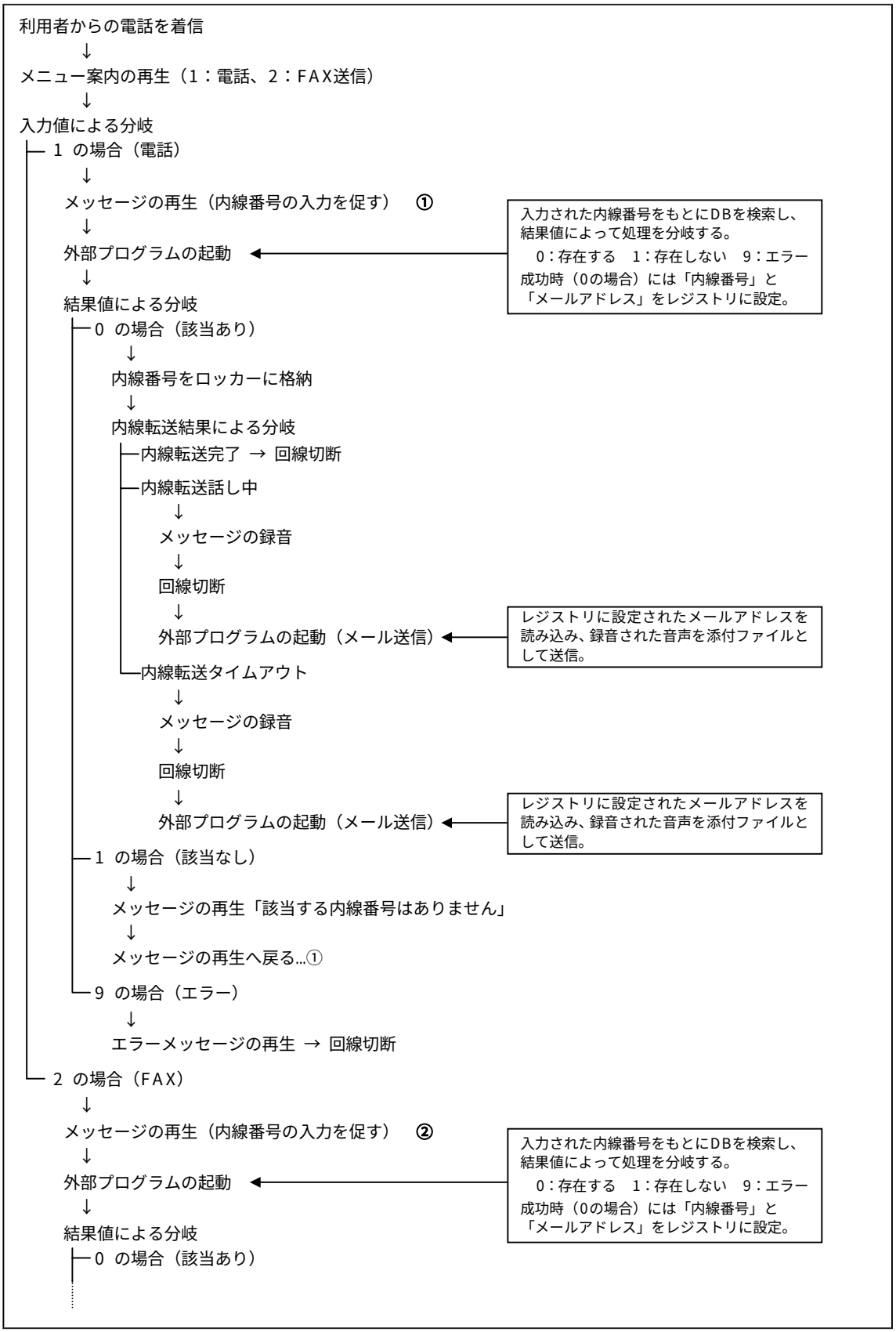
※ 社員DBには、内線番号とメールアドレスが登録されていることが前提となります。

＜FAX の場合＞

1. 顧客からの電話を着信後、内線番号の受信により、DBを検索して担当者の個人BOXにFAXを受信する。
2. FAXは指定された形式で保存し、添付ファイルとして指定のメールアドレスへ転送する。

※ 社員DBには、内線番号とメールアドレスが登録されていることが前提となります。
※ 顧客からのFAXを個人BOXに受信するには、顧客がガイダンスフローにしたがって操作し、FAX送信する必要があります。
※ 内線番号の受信がないままFAXを受信した場合は、あらかじめ指定した担当者にFAXが配信されます。

フローチャート

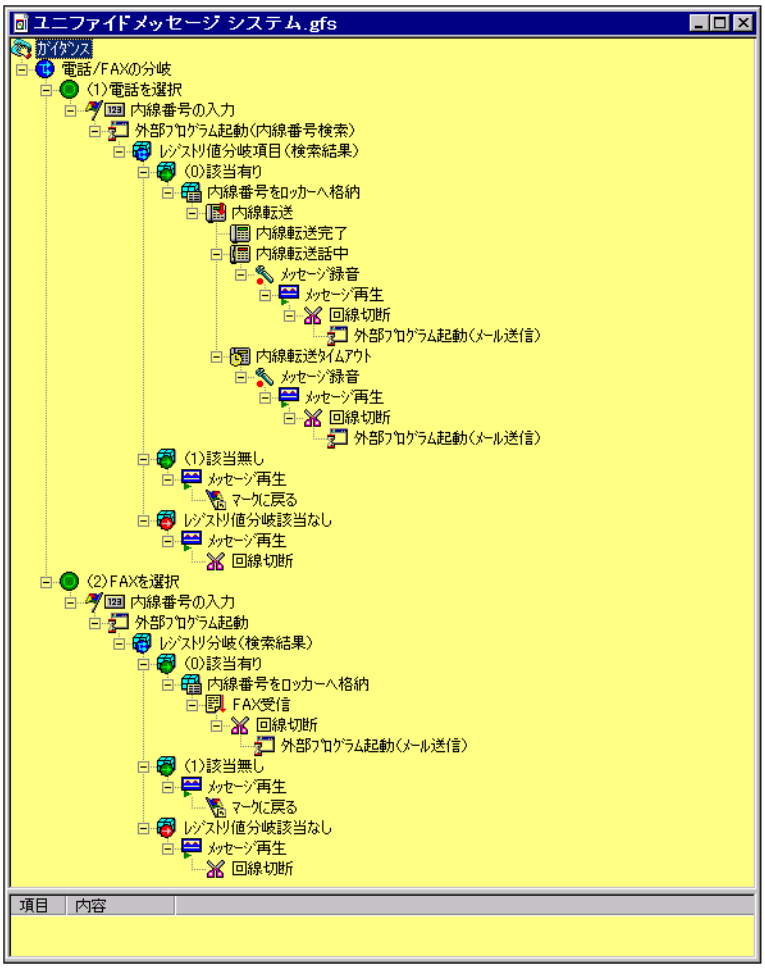

利用者からの電話を着信
↓
メニュー案内の再生（1：電話、2：FAX送信）
↓
入力値による分岐
1 の場合（電話）
↓
メッセージの再生（内線番号の入力を促す） ①
↓
外部プログラムの起動
入力された内線番号をもとにDBを検索し、結果値によって処理を分岐する。
0：存在する 1：存在しない 9：エラー
成功時（0の場合）には「内線番号」と「メールアドレス」をレジストリに設定。
↓
結果値による分岐
0 の場合（該当あり）
↓
内線番号をロッカーに格納
↓
内線転送結果による分岐
内線転送完了 → 回線切断
内線転送話し中
↓
メッセージの録音
↓
回線切断
↓
外部プログラムの起動（メール送信）
レジストリに設定されたメールアドレスを読み込み、録音された音声を添付ファイルとして送信。
内線転送タイムアウト
↓
メッセージの録音
↓
回線切断
↓
外部プログラムの起動（メール送信）
レジストリに設定されたメールアドレスを読み込み、録音された音声を添付ファイルとして送信。
1 の場合（該当なし）
↓
メッセージの再生「該当する内線番号はありません」
↓
メッセージの再生へ戻る…①
9 の場合（エラー）
↓
エラーメッセージの再生 → 回線切断
2 の場合（FAX）
↓
メッセージの再生（内線番号の入力を促す） ②
↓
外部プログラムの起動
入力された内線番号をもとにDBを検索し、結果値によって処理を分岐する。
0：存在する 1：存在しない 9：エラー
成功時（0の場合）には「内線番号」と「メールアドレス」をレジストリに設定。
↓
結果値による分岐
0 の場合（該当あり）

↓
内線番号をロッカーに格納
↓
FAX受信「FAXを送信してください」
↓
回線切断
↓
外部プログラムの起動（メール送信）← レジストリに設定されたメールアドレスを読み込み、送信されたFAXを添付ファイルとして送信。

1 の場合（該当なし）
↓
メッセージの再生「該当する内線番号はありません」
↓
メッセージの再生へ戻る…②

9 の場合（エラー）
↓
エラーメッセージの再生 → 回線切断

ガイダンスエディタ



※上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 構築具体例 ・ 6

災害発生時の社員安否確認システム

システムの内容

災害発生時に、社員の安否状況を登録。管理者は、登録状況を外部ＦＡＸ機から受信する。

【導入効果】

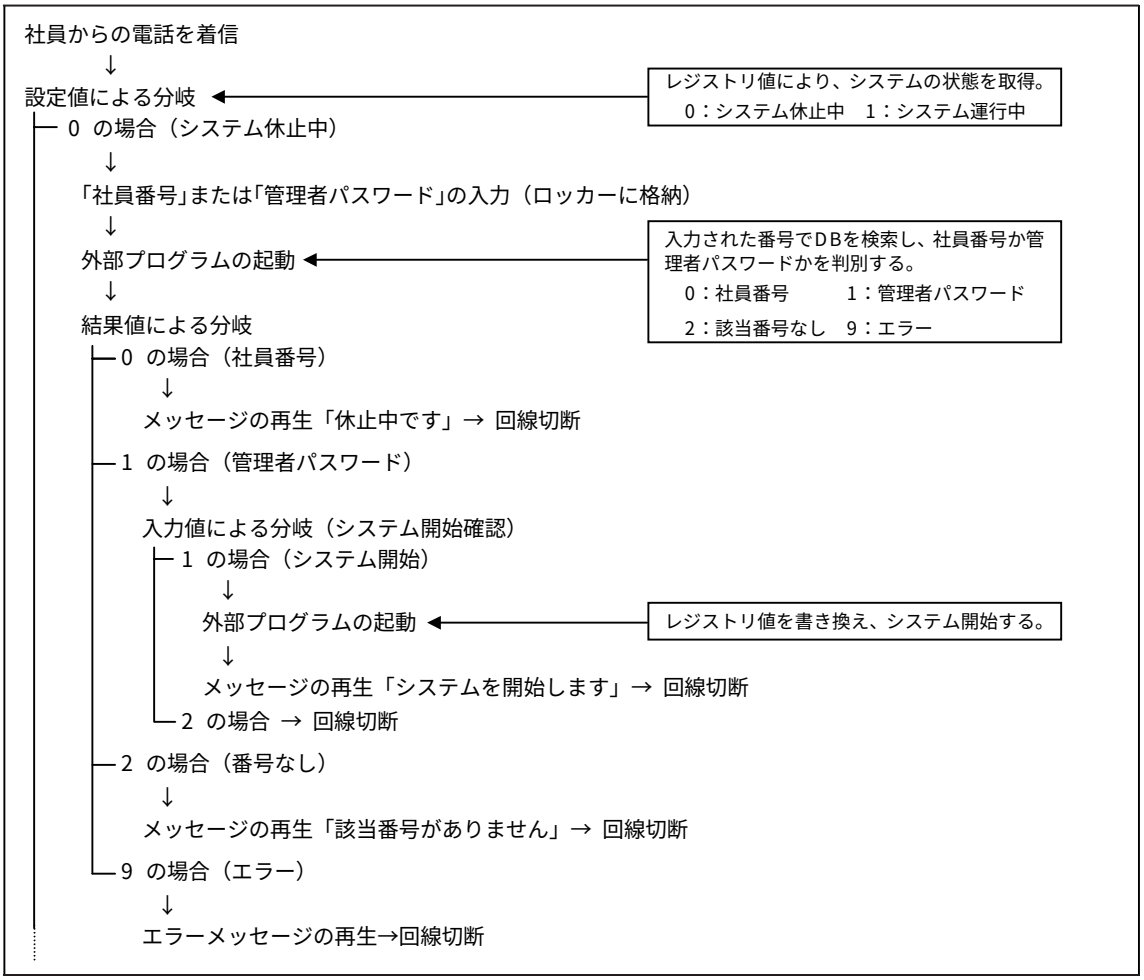
● 危機管理対策 ： 迅速かつ的確な被害状況の把握が可能です。

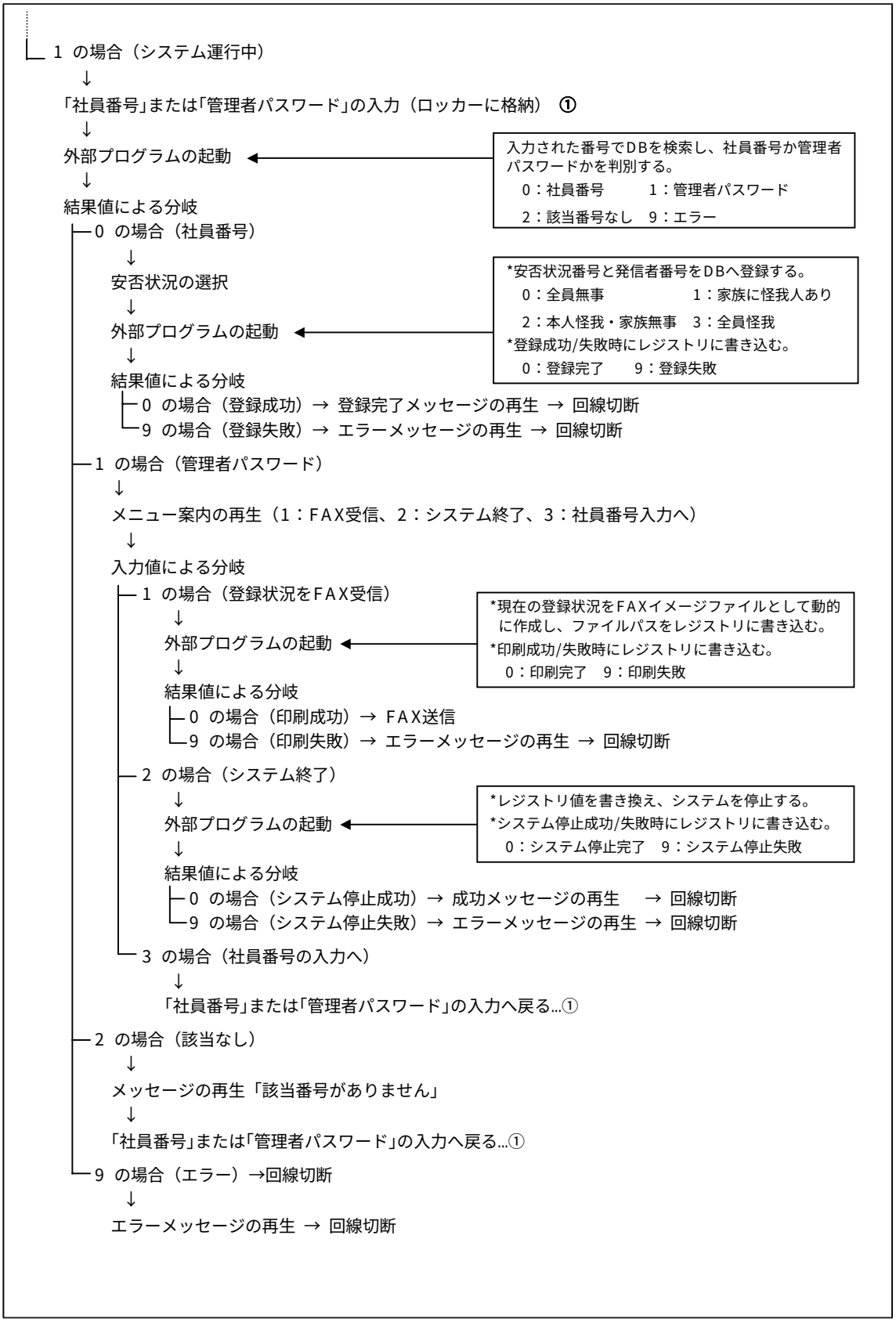
システムの流れ

1. 社員からの電話を着信後、「社員番号」または「管理者パスワード」を受信する。
2. 番号を判別し、社員番号であれば安否状況の登録を受け付ける。
3. 番号を判別し、管理者パスワードであればシステムの開始/停止、および登録状況のＦＡＸ送信を受け付ける。

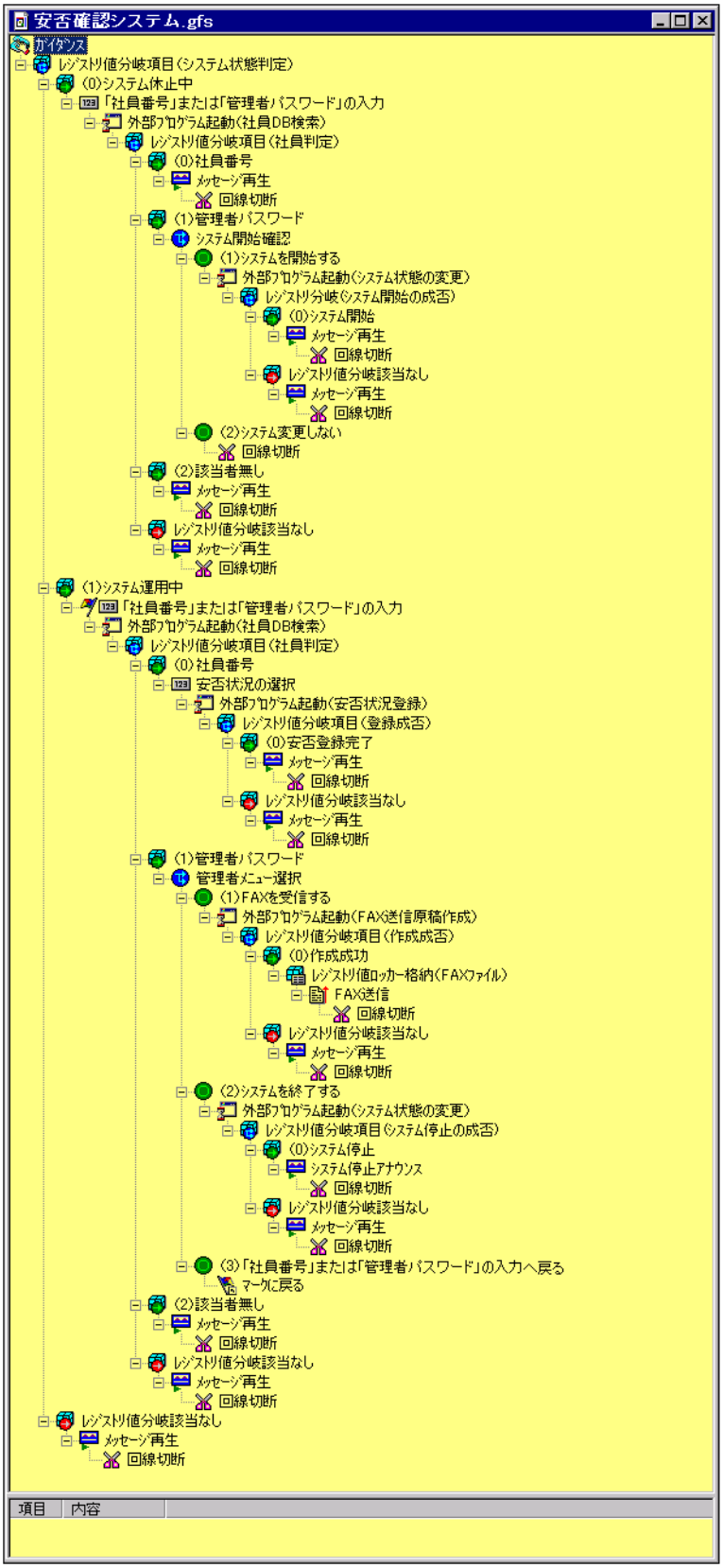
※ レジストリ値を判別・変更することで、システムの開始/停止を行います。システム設置時には、サーバー パソコンにレジストリキーを作成し、値をセットしておく必要があります。

フローチャート




1 の場合（システム運行中）
↓
「社員番号」または「管理者パスワード」の入力（ロッカーに格納） ①
↓
外部プログラムの起動
入力された番号でDBを検索し、社員番号か管理者パスワードかを判別する。
0：社員番号　1：管理者パスワード
2：該当番号なし　9：エラー
↓
結果値による分岐
0 の場合（社員番号）
↓
安否状況の選択
↓
外部プログラムの起動
*安否状況番号と発信者番号をDBへ登録する。
0：全員無事　1：家族に怪我人あり
2：本人怪我・家族無事　3：全員怪我
*登録成功/失敗時にレジストリに書き込む。
0：登録完了　9：登録失敗
↓
結果値による分岐
0 の場合（登録成功）→ 登録完了メッセージの再生 → 回線切断
9 の場合（登録失敗）→ エラーメッセージの再生 → 回線切断
1 の場合（管理者パスワード）
↓
メニュー案内の再生（1：FAX受信、2：システム終了、3：社員番号入力へ）
↓
入力値による分岐
1 の場合（登録状況をFAX受信）
↓
外部プログラムの起動
*現在の登録状況をFAXイメージファイルとして動的に作成し、ファイルパスをレジストリに書き込む。
*印刷成功/失敗時にレジストリに書き込む。
0：印刷完了　9：印刷失敗
↓
結果値による分岐
0 の場合（印刷成功）→ FAX送信
9 の場合（印刷失敗）→ エラーメッセージの再生 → 回線切断
2 の場合（システム終了）
↓
外部プログラムの起動
*レジストリ値を書き換え、システムを停止する。
*システム停止成功/失敗時にレジストリに書き込む。
0：システム停止完了　9：システム停止失敗
↓
結果値による分岐
0 の場合（システム停止成功）→ 成功メッセージの再生　→ 回線切断
9 の場合（システム停止失敗）→ エラーメッセージの再生 → 回線切断
3 の場合（社員番号の入力へ）
↓
「社員番号」または「管理者パスワード」の入力へ戻る…①
2 の場合（該当なし）
↓
メッセージの再生「該当番号がありません」
↓
「社員番号」または「管理者パスワード」の入力へ戻る…①
9 の場合（エラー）→回線切断
↓
エラーメッセージの再生 → 回線切断

ガイダンスエディタ

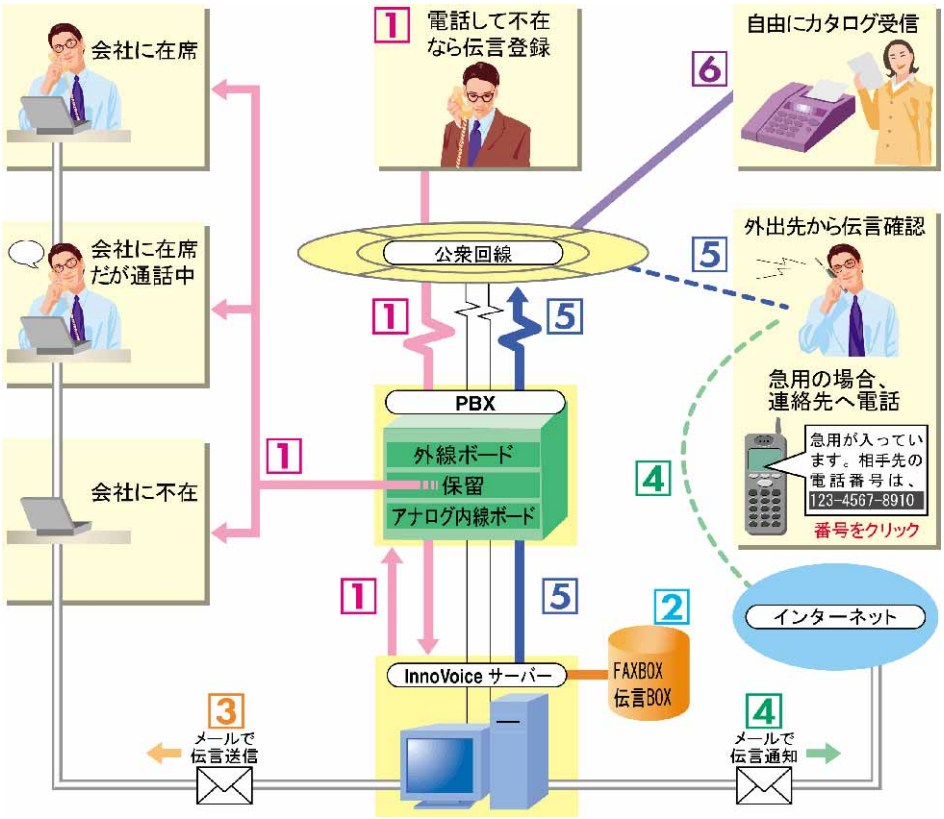


※上の画面では、アクションバーを省略しています。

InnoVoice 導入事例

交換機と連携した電話一次受付けシステム

交換機の配下にInnoVoiceを設置することで、中小企業でも一次受付けによる内線転送システムが構築できます。



1 お客様は音声応答により、担当営業を呼び出します。

2 担当営業不在の場合は、メッセージを録音します。また、お急ぎの場合は連絡先の電話番号を入力します。

3 InnoVoiceはメッセージをメールに添付して担当営業に送ります。担当営業は出社時にパソコンでメッセージを聞きます。

4 InnoVoiceはメッセージを預かり、携帯電話にメール発信して外出中の担当営業へメッセージが入ったことを知らせます。急用の連絡であればワンクリックで相手に発信できます。

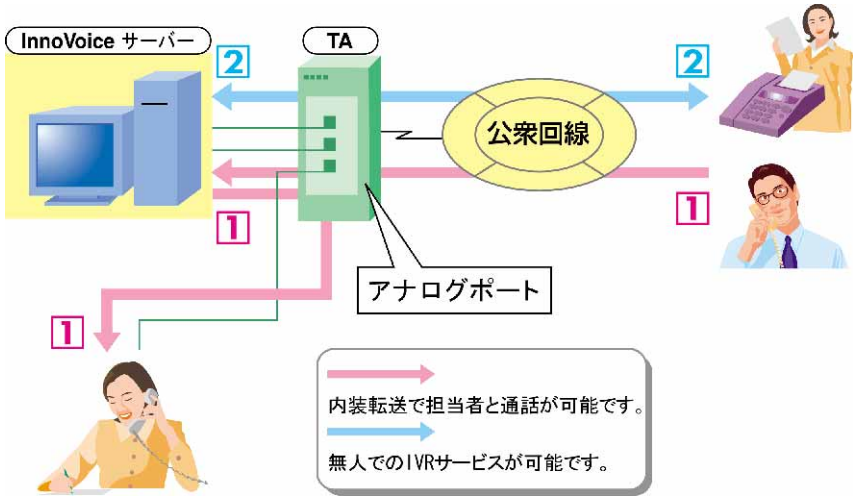
5 担当営業は携帯番号からInnoVoiceへアクセスし、自分宛のメッセージを再生して聞くことができます。

6 お客様が音声応答に従いカタログをFAX で取り出すこともできます。

音声応答内線転送による電話の一次受けの軽減、会社の留守電自動切換え機能（休日、昼休み、年末年始）、お客様への連絡向上、カタログFAX送信作業の軽減効果があります。

営業所、出張所でのTAと連携した一次受付けシステム

営業所、出張所レベル（交換機がない環境）でもISDN回線のTA配下にInnoVoiceを接続することにより、一次受付けによる内線転送が可能です。



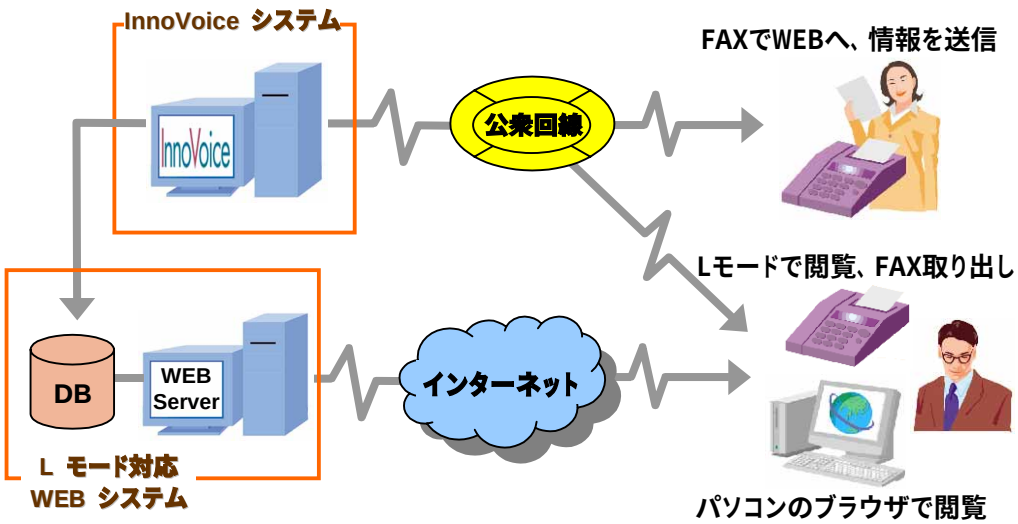
1 内線転送　　：TAのアナログポートに接続された電話に転送が可能です。

2 IVRシステム ：通常のIVRシステムが可能です。

ex）「ハイ、こちらは○○商事です。FAX情報サービスをご利用の方は1＃、担当者とお話されたい方は2＃を入力してください。」

※他のTAと接続（TA間を接続）することにより、そのTA配下の電話に転送することが可能です。つまり複数の電話に転送できます。　　（注） TAの機種に依存します。

Lモード端末を利用したFAX情報サービス　（某コンテンツプロバイダの場合）



コンテンツ提供者はInnoVoiceへFAXを送信し、WebサイトにFAXイメージをアップロードします。
これにより、非インターネット利用者がインターネット利用者に対し、情報発信することが可能となります。
また、Lモード利用者は、Lモード電話機から直接FAXデータを取り出すことができます。

情報登録システム

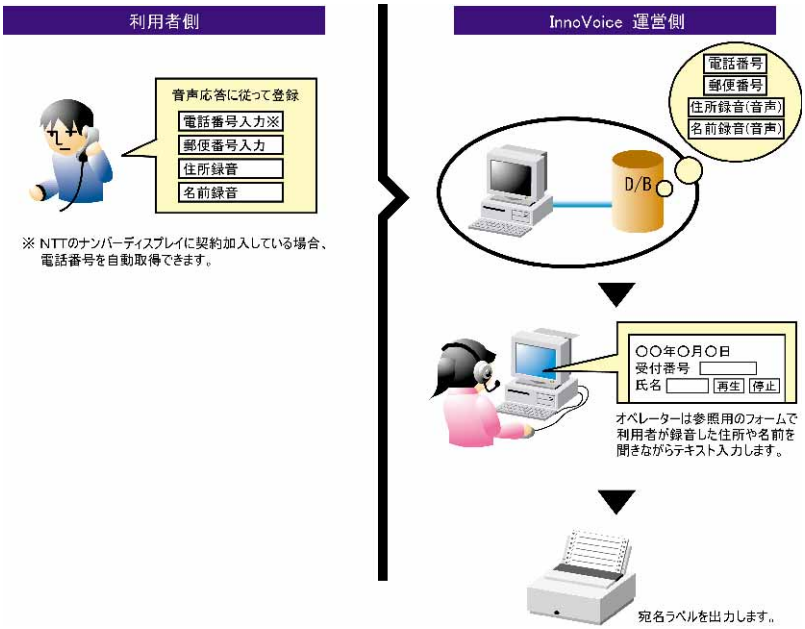
導入事例：学校案内受付け、会社での資料請求受付けetc

概 要

利用者は音声応答に従って、電話番号、郵便番号をトーン入力します。住所や名前は、音声で録音します。一方、InnoVoice運営側は、DBに自動登録されていますので、音声で入力されたデータのみ、専用のフォームで音声を開きながらテキスト入力します。

【導入効果】

- 営業チャンスの拡大：
  24時間365日体制で資料請求を自動受付します。
- 担当者の作業効率アップ：
  担当者は電話の定型受付けから開放されますので、本来の業務に集中できます。



予約受付システム

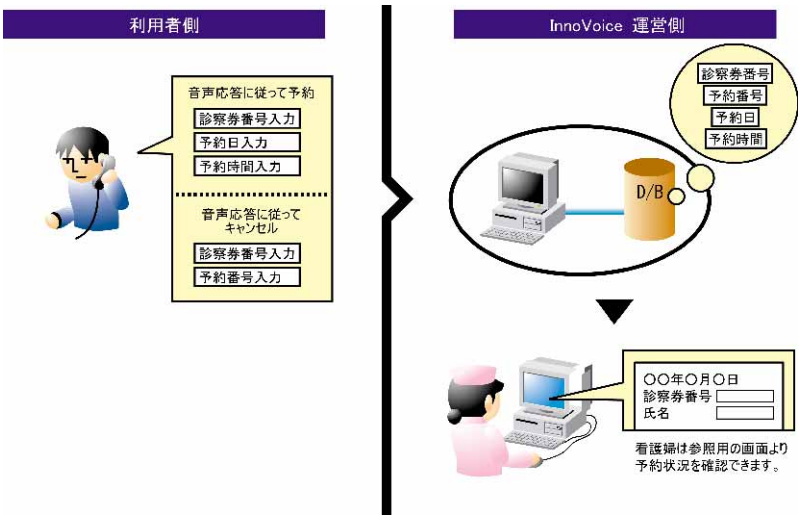
導入事例：小児科医院、歯科医etc

概 要

利用者は音声応答に従って、診察券番号、予約日、予約時間をトーン入力で指定し予約を行います。また、予約番号を入力することにより予約のキャンセルも可能です。

【導入効果】

- 顧客の囲い込み戦略：
  - ・朝早くから順番取りで来院する必要はありません。
  - ・待合室/駐車場の混雑が解消します。
  - ・待合室での相互感染の心配が少なくなります。
- 看護婦さんの電話応対の負担を軽減：
  - ・自動音声応答ですので、看護婦さんは業務に集中できます。



InnoVoiceの機能一覧

主な機能

■ 内線転送
交換機やボタン電話主装置配下にInnoVoiceを設置。ガイダンスエディタで［内線転送］アクションを指定するだけで、着信した電話を交換機やボタン電話主装置の内線に転送。電話の一次受けに費やすコストが不要となります。
※ ご使用の交換機やボタン電話主装置によっては、利用できない場合があります。詳しくは、次ページ「交換機内線転送時の注意」を参照してください。

■ 発信処理
発信APIを利用して、ユーザー アプリケーション（外部プログラム）からInnoVoiceへの発信要求が可能です。
InnoVoiceから指定の宛先にダイヤルして、ガイダンスの実行、メッセージ再生、FAX送信、メール送信、ポケベル送信などを、能動的に行うことができます。

■ FAX 保存形式の指定
独自の「IVX形式」に加え、「TIFF形式」、「JPEG形式」で受信FAXを保存できます。

■ 外部プログラム起動（アクション）
応答ガイダンスから自動的に外部プログラムを実行する機能。外部プログラムで作成したデータのＦＡＸ送信や、外部プログラムがInnoVoiceに返すテキスト情報を利用して、音声やFAXによるリアルタイムな情報配信が実現できます。

■ ナンバー・ディスプレイ対応
ナンバー・ディスプレイ情報を活用して、FAXの自動返信や、DB/外部プログラムに引き渡すなどのアクションが可能です。DBや外部プログラムと連携することにより、高度なシステム構築が可能になります。

■ メッセージ録音（アクション）
指定されたBOXに、伝言を録音することができます。WAV形式で保存されます。

■ テキスト読み上げ
指定されたテキスト ファイルを音声で読み上げます。ニュースなど定期的に更新されるデータを発信したり、テストモードでガイダンスのデバッグをするときに使用します。
※ 沖電気工業株式会社の日本語テキスト音声変換エンジン「SMARTTALK® DLL Version 2.0」を使用。

■ 伝言 BOX 機能
外出先から自分のBOXにリモート アクセスし、FAXや伝言を参照する機能。FAXはそのまま取り出したり、指定のFAX番号へコールバック送信することができます。伝言は再生することはもちろん、件数/期間を指定した自動削除も可能です。

■ データベース連携
DBを検索した結果情報を利用して、FAX送信や検索結果の読み上げができます。また［外部プログラム起動］アクションを利用することで、MS-Access等のストアドプロシージャを持たないDBと連携した受注システムなどが構築できます。

■ SOHO 機能
新たに回線を増設することなく、既存のFAX用回線をInnoVoiceとFAX機で共用できます。受信をInnoVoice、送信はこれまで通りFAX機が担当します。

■ 動的印刷機能
プリンタドライバAPIを利用することにより、動的にFAXイメージを作成することが可能です。
例えば、利用者からのトーン入力で受注し、その場で受注内容証明書を作成してFAX配信するシステムなどで利用できます。
※ FAX原稿を作成するアプリケーションが、API機能を搭載している必要があります。

■ ガイダンスのテスト
ガイダンスエディタで構築したガイダンスは、実回線を通さずに、ソフト上での動作確認が可能です。通信料金を気にせず、何度でもガイダンスのテストを行うことができます。

■ ガイダンスの実行
ガイダンスは、Windowsのサービスとして動作します。
ガイダンス ファイルは各回線ごとに割り当てられており、この情報をサービスが読み込んで実行します。そのため、Windows起動と同時に（Windowsにログオンすることなく）受信待機状態となります。

■ ログ管理機能
ログビューアでは、利用者がガイダンスへアクセスした情報（通信結果/状況/日時、利用ガイダンス ファイル、使用回線、発信者電話番号、エラーコードなど）を記録・表示します。

■ 送信 FAX 原稿の作成
InnoVoiceのプリンタドライバを利用して、印刷機能のあるアプリケーションでFAX原稿を作成できます。またInnoVoiceのFAXビューアでの作成も可能です。

■ ログデータのグラフ化
ログビューアでは、月、週、日、時間帯というタイムスケールで、アクセス情報をグラフ化することができます。

交換機内線転送時の注意

交換機やボタン電話主装置によっては、内線転送機能を利用できない場合があります。
ご使用の装置が必要条件を満たしているかどうかを確認してください。

InnoVoice の内線転送処理

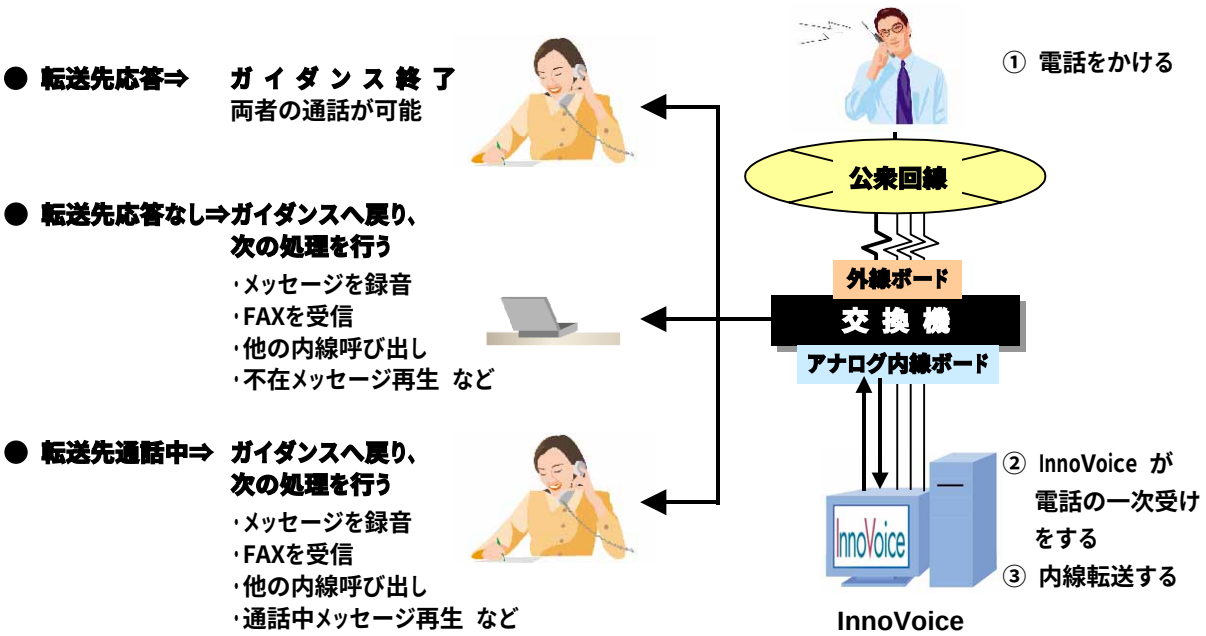
まず、InnoVoice内部での処理を説明します。

1. 外線電話を着信後、外線先（発信元）を保留するために「フッキング」を行う。
   ※内線転送の間、通常は外線先に交換機から保留音（またはメッセージ）が流れます。

2. 転送先の内線番号をダイヤル。ダイヤル後の呼び出し状況は、交換機から送られるトーンで確認。
   - ビジートーンを検出した場合　：　話し中
   - リングバック トーンを検出した場合　：　呼び出し中
   - リングバック トーンの消失を検出した場合　：　転送先応答※1
   - リングバック トーンの消失が一定時間内に検出できない場合　：　転送先未応答
   - 転送先からのプッシュトーンを検出　：　転送先応答
   - 極性反転を検出

3. 転送先の応答を確認後、回線を切断する。この動作により、交換機内部で発信元と転送先が通話可能になる。

4. 転送先が話し中や未応答の場合は、外線先の保留を解除するために「フッキング」を行う。



交換機およびボタン電話主装置の必要条件

以下の条件を満たさない装置では、内線転送機能を利用できません。

- 交換機にアナログ内線を収容できる（アナログ内線は「リバース：極性反転」対応を推奨※2）
- アナログ内線からのフッキングにより、交換機内で保留ができる
- アナログ内線からのフッキングにより、保留状態を解除できる
- フッキング後に、アナログ内線から内線呼び出しができる
- アナログ内線側で、リングバック トーン（RBT）を検出できる
- アナログ内線側で、ビジートーンを検出できる
- 呼び出した内線側が応答後、アナログ内線を回線切断することで、保留している回線と内線を接続できる
- 転送先からプッシュトーンが出せる

※1　転送先が応答（受話器をとる）してから、InnoVoiceが接続を確認するまで、2秒間程度かかる場合があります。
※2　交換機経由で、音声情報配信やFAX配信など発信系のサービスを行う場合は、リバース対応のアナログ内線を使用して下さい。

内線転送をご検討いただく場合は、
事前に交換機調査が必要です。
弊社までお問い合わせください。

※ 事前にメーカー名、機種名、信号スペックをお調べください。
※ 接続確認済みの機種は、随時弊社ホームページ上で公開しております。
http://www.intercom.co.jp/inno/

InnoVoice サンプルテンプレート

InnoVoiceを使った代表的なシステムのサンプルテンプレートを弊社ホームページ上からダウンロード可能です。
ご希望のシステムに類似したサンプルテンプレートを利用することにより、開発工数を大幅に削減できます。

【提供中サンプルテンプレート】

■音声FAX情報システム

音声（wavファイル、テキストファイル）及びFAX（wordファイル、IVXファイル）による情報配信システムです。wavファイルは電話から音声を録音、FAX（ivx）ファイルはFAXを送信することで情報の更新が可能です。詳細な説明資料、およびVisual Basicのソースコードが提供されます。

■介護時間登録システム

ナンバーディスプレイで認証を行ない、ヘルパーさんの勤務時間を登録するタイムカードシステムです。予定表のFAX受信を行なうこともできます。

■企業向け受付けシステム

定型的な電話一次受けシステムです。不在時、時間外には伝言を録音しメール（添付ファイル）で送信します。また、FAXの取り出し（FAXBOX機能）や外出先から伝言確認を行なうことができます。

■情報登録システム

システム利用者の個人情報を自動で登録するシステムです。名前音声、郵便番号、住所音声、電話番号、生年月日をデータベースに登録します。会員受付やアンケート収集などに適用することができます。

■予約システム

病院向けの診療時間予約システムです。予約日、予約時間をトーン入力で指定し予約を行うことができます。予約番号の入力により予約のキャンセルを行なうこともできます。

■安否確認システム

災害発生時に社員の安否状況を登録するシステムです。
役員へはシステムが自動発信し、安否状況、出社可否を登録してもらいます。
一般社員は、システムに電話をかけて安否状況を登録します。
また管理者は、安否状況のレポートを外部からFAXで取り出し確認できます。

※音声FAX情報システムのサンプルテンプレートには、詳細な説明資料が付いていますが、他サンプルテンプレートには、基本的な説明資料のみ付いております。

『InnoVoice サンプルテンプレート』ダウンロードサービスアドレス
http://www.intercom.co.jp/inno/support/index.html

システム構成例《音声FAX情報システム（２回線）の場合》

InnoVoice 2

InnoVoice　アナログ×2	1	2 回線音声 FAX 応答カード付き

ソフトウェア

Windows 2000 Server	1	OS
Access 2000	1	データベース
Word 2000	1	FAX データの元データ

ハードウェア

※サーバーＰＣのスペック変更は可能です。

Server PC (メーカー保証のある サーバーPC)	1	PentiumIII 1G 以上／256MB(メモリ)／RAID1 ミラーリング構成／15 インチ CRT／UPS ※ 3.3V の PCI バスを装備していること。
USB オーディオ インターフェイスボード	1	PC 上で音声を録音、確認時に必要。
ヘッドセット	1	PC 上で音声を録音、確認時に必要。

その他費用

システム導入費 （Server 構築作業）	1	InnoVoice システム、周辺機器のインストール／ボードの初回テスト
現調費	1	梱包、運搬、荷解、設置、稼動試験、簡単な運用説明等。
InnoVoice 年間保守契約	1	・パッケージ保守契約 ・システム保守契約

カスタマイズ開発費

カスタマイズ開発費	1	カスタマイズ作業が必要な際に発生します。

※御見積価格については、 弊社営業部までお問い合わせください。

InnoVoice 製品構成と走行環境

InnoVoice パッケージ内容

・マスタ ディスク（CD-ROM）
・インストール ガイド
・PDFマニュアル（マスタ ディスク内）
・使用許諾証明書
・ソフトウェア登録証
・音声FAX応答カード
・音声FAX応答カード 取扱説明書
・ハードウェア登録証（保証書含む）

オプション販売

・2回線音声FAX応答カード　（回線ライセンス付）
・DP認識2回線音声FAX応答カード
（回線ライセンス付）
・4回線音声FAX応答カード　（回線ライセンス付）
・DP認識4回線音声FAX応答カード
（回線ライセンス付）
・4回線ナンバーディスプレイカード

※ 4回線ナンバーディスプレイカード以外は、
PCIバス3.3V用です。

走行環境

サーバー	
対応 OS	Windows 2000 Server Windows 2000 Professional※
CPU	PentiumIII 400MHz 以上
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	1GB 以上

※クライアント連携のないスタンドアローンでしか使用できません。

管理者	
対応 OS	Windows 2000 Server Windows 2000 Professional
CPU	Pentium 200MHz 以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	10MB 以上

クライアント	
対応 OS	Windows 2000 Server Windows 2000 Professional Windows 98 SE Windows Me Windows XP Home Edition
CPU	Pentium 200MHz 以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	10MB 以上

※ Windows Server 2003、Windows XP Professional への対応は、営業部へご確認ください。

株式会社インターコム
SMB事業部　パートナー営業部　行
TEL:03(3839)6791　FAX:03(3839)6232

InnoVoice無料貸出し申込書

InnoVoice体験版（以下、製品という）の無料貸出しをご希望されるお客様は、下記の内容をよくご確認の上、「お客様記入欄」に必要事項を記入してください。署名・捺印の上、この用紙をFAXまたは郵便にて送信願います。なお、本申込書での無料貸出しはソフトウェアのみとなります。音声応答カードの貸出しをご希望の場合は営業部までお問い合わせください。用紙到着後、在庫があれば10日間以内に商品をお届けいたします。

■ 貸出し期間
製品の貸出し期間は、製品到着後30日間とさせていただきます。期間を超えての使用を希望する場合は、必ず弊社担当までご連絡ください。審査の上、貸出延長を行いますが、状況により延長できないことがあります。なお、製品返却時の送料は、お客様のご負担にてお願いいたします。

■ 使用許諾条件と使用期間
製品をインストールする際、初めに使用許諾契約が表示されます。この使用許諾契約に同意する場合にのみ、使用が可能です。必ず全文をお読みください。

■ 使用責任
製品の複製、および第三者への販売、譲渡、貸与をしないものとします。また、貸出し終了後は、インストールしたソフトウェアやコピーしたものを、すべて消去・破棄してください。
お客様の過失により、商品に含まれるハードウェアの破損および紛失が生じた場合、誠に恐縮ではありますが、その商品の定価にてお買い上げいただきます。また、商品の使用により、お客様または第三者が被った直接的・間接的な損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。なお、同封されているアンケート用紙は、必ずご記入の上、ご返却いただきますようお願いいたします。

■ 記入欄
以下は、「お客様記入欄」です。商品の発送先となる他、貸出しの是非を判定する資料ともなりますので、もれなくお書きください。「使用目的」には、導入を検討されている製品の具体的な使用方法をお書きください。ご不明な点は、何なりとお気軽にお問い合わせください。

お客様記入欄(必ずご捺印ください)

InnoVoice の貸出しを申し込みます			Ver.	
申込日	平成　年　月　日		製品	ソフト単体
お名前	㊞		E-Mail	
会社名			部署名	
ご住所	〒		電話	
			FAX	
使用目的				
	導入予定日	年　月		
	使用PC:		使用OS:	

貸出希望期間	貸出日	返却予定日	返却日(インターコム記入)
	平成　年　月　日	平成　年　月　日	平成　年　月　日

▶ **ライセンス販売**

▶ **InnoVoiceセミナー（無料）受付中**

※ 実演を交えて、機能や活用例をわかりやすく説明いたします。

お問い合わせは
（株）インターコム　SMB 事業部パートナー営業部まで

TEL：(03)3839-6791
FAX：(03)3839-6232

TEL：(０３)３８３９-６７４２　（音声応答受付）
http://www.intercom.co.jp/inno/

〒110-8654 東京都台東区台東1-3-5 反町ビル